

新体制スタート

諸課題対応へ一致団結

第43回通常総会 設備工事業の使命全う

省・新エネ技術を駆使



当協会は5月21日、福島市のウェディングエルティで第43回通常総会を開いた。任期満了に伴い役員を改選。新会長に有賀行秀氏（写真）を選出した。副会長は古川敏博氏を再任し、新しく倉島史樹氏、吉成進氏を選任。新体制による協会活動が開始した。中東情勢の悪化が建設分野にも大きな影響を及ぼす中、会員が一致団結して難局を乗り越え、業界の発展と振興を目指して諸活動を推進する。

会員36人が出席。大内弘之会長は「中東情勢の悪化により資材価格の高騰、製品出荷停止や納期の遅れなどが発生し、業界全体が厳しい状況にある」と急速に変化する業界の現状に危機感を示した上で、会員相互の輪を一層重視し、設備業界の地位向上や社会貢献に尽力しようと呼び掛けた。適正価格での受注、発注の平準化、公共工事の継続的な予算確保、入札制度の見直しなど、関係



会員一丸で諸課題解決に取り組むことを決めた総会

取り巻く課題は一層複雑化している」として「建設業が将来にわたり地域を支える産業であり続け

退任役員2人に感謝状贈呈
協会活動への貢献したる
当協会は6月16日、福島市の中華飯店精華苑で2026年度第3回役員会・理事会を開いた。4委員会の正副委員長を委嘱。先の総会をもって退任した前役員2人に感謝状を贈った。
感謝状を受けたのは、前会長の大内弘之氏（第一温調工業㈱）と前理事の小板橋直史氏（㈱小板橋工業所）。
大内氏は、2014年から12年間にわたって役員を務め、16年に副会長就任、20年から会長として3期6年間、協会活動をけん引した。
小板橋氏は、18年に理事就任。総務委員として協会の発展に寄与してきた。
有賀行秀会長がそれぞれに感謝状を贈り、協会事業の推進と建築設備産業発展への貢献をたたえた。



村上次長

有賀行秀会長はあいさつで「社会情勢の不安・不確実性、それに伴う材料の納入遅れや価格の上昇など、われわれには大きな課題が突き付けられている。加えて働き方改革による人的部分の変革、さらにはAIの進歩、デジタル技術の普及により、これまで培ったもの

第43回通常総会終了後、村上金彦県土木部建築担当次長、矢吹貢一県会議長、太田光秋自由民主党県支部連合会副会会長ら来賓と賛助会員を交えて懇親会を開いた。
有賀行秀会長はあいさつで「社会情勢の不安・不確実性、それに伴う材料の納入遅れや価格の上昇など、われわれには大きな課題が突き付けられている。加えて働き方改革による人的部分の変革、さらにはAIの進歩、デジタル技術の普及により、これまで培ったもの

①会員の収益性向上による経営安定②空調衛生等設備工事の技術力向上③関係行政機関並びに友好団体との連携強化④国・県等行政機関並びに議会に対する、地元業者活用と分離発注等（地産地消）の陳情、請願⑤若年技術者、技能者の確保と育成⑥労働安全衛生の向上を



矢吹議長

技術革新「果敢に挑戦」 総会懇親会 さらなる発展へ躍進誓う



一層の団結力強化を誓った懇親会

確かな技術と品質で社会貢献
空調衛生設備工事を通じて
地域の復興・創生に協力いたします。
会員一同

人・街・未来へ
株式会社 小泉東北
代表取締役 野村 郁夫
本社 〒983-0035
宮城県仙台市宮城野区日の出町3-3-15
TEL022(352)4651(代)
郡山営業所 TEL024(952)1211(代)
会津営業所 TEL0242(32)9811(代)
石巻営業所 TEL0225(25)7445(代)
仙台南営業所 TEL022(797)7081(代)
福島営業所 TEL024(572)3699(代)
(株)小泉 〒167-8555 東京都杉並区荻窪4-30-16
TEL03(3393)2511(代)

空調・衛生・管工機材の総合商社
富士機材株式会社
■郡山支店 ■
〒963-0725
郡山市田村町金屋字下夕川原167-4
TEL (024) 941-3621
■いわき支店 ■
〒972-8316
いわき市常磐西郷町銭田107-15
TEL (0246) 72-1571

TOTO
代理店
タカムラ
TAKAMURA
〒960-0180
福島市鎌田字卸町13番地の5
TEL (024) 553-1464(代)
営業所
福島・郡山・いわき・会津・水戸
仙台・関東東・宇都宮・さいたま
アルテック・未来工房

水道資材総合商社
DAI SAN
太三機互株式会社
本社 〒104-0061
東京都中央区銀座1-19-15
TEL(03)3561-8761(代)
●福島営業所
福島市八木田字榎内23 TEL(024)546-3101
●いわき営業所
いわき市内郷御殿町1-162 TEL(0246)27-7589

SEDIA
SYSTEM
郡山 SC (024) 945-2105
会津若松 SC (0242) 23-1122
いわき SC (0246) 24-2266
福島 SC (024) 535-0201
白河 SC (0248) 27-2911
渡辺パイプ株式会社
https://www.sedia-system.co.jp

第23期役員体制

今総会では第23期役員体制を次の通り決定した（新任はゴシック表記）。任期2年。2026・27年度の委員会体制も次の通り決定した。

【新役員】

- ▽相談役
松原兼一（三共設備）
- ▽常任相談役
大内弘之（第一温調工業）
- ▽会長
有賀行秀（北関東空調工業）
- ▽副会長
古川敏博（光和設備工業所、県北支部長）
倉島央樹（倉島設備）
吉成進（セコムエンジニアリング、県中・県南支部長）
- ▽専務理事
海川正美

- ▽会計理事
高橋良行（高橋設備工業所）
- ▽理事
本多修一朗（第一温調工業）
根本剛（エヌエス工業）
山田顕一郎（山田設備工業）
坂本憲弘（大倉工業所、いわき支部長）
遠藤真隆（いわきエアコン）
松原兼宏（三共設備）
鹿目寿（会津ガス、会津支部長）
桎屋和久（アークズ会津）
糸井和幸（糸井熱機、相双支部長）
木幡安（コハタ）
- ▽監事
野地幸司（野地工業所）
深井信彦（太三機工）

2026・27年度委員会体制

■総務委員会（委員8人）

- 1 協会活動の基本方針の策定
- 2 財政方針の策定
- 3 組織運営の方針の協議
- 4 定款及び諸規定の改正検討
- 5 会員の叙勲、表彰等の選考
- 6 機関紙発行に関する財源の確保
- 7 県立テクノアカデミーへの協力
- 8 会員の親睦事業の実施
- 9 ホームページ運用に関する事項
- 10 他の委員会に属さない事項
- 11 親睦ゴルフコンペに関する事項
- 12 インターンシップの推進

担当副会長 倉島 央樹 委員長 遠藤 真隆

副委員長

糸井 和幸

委員

- 高橋 良行（高橋設備工業所）
- 中野 久之（協栄設備）
- 猪野 和洋（内藤工業所）
- 小坂橋 直史（小坂橋工業所）
- 蛭田 光俊（山崎設備）
- 遠藤 真隆（いわきエアコン）

笠間 己喜男（ハッ橋設備）
糸井 和幸（糸井熱機）

■経営委員会（委員5人）

- 1 会員の経営体質の強化を図るため経営改善研修会の開催
- 2 新分野への調査・研究
- 3 若手技術・技能者等の確保と育成のため、業界活動の啓発

担当副会長 古川 敏博 委員長 芳賀 和則

副委員長

野地 幸司

委員

- 野地 幸司（野地工業所）
- 芳賀 和則（芳賀設備工業）
- 坂本 憲弘（大倉工業所）
- 桎屋 和久（アークズ会津）
- 伊藤 隆博（伊藤冷機工業）

■技術委員会（委員8人）

- 1 公共工事の適正施工を図るため、技術講習会や関係法令勉強会の開催
- 2 高度な設備技術を対象とした特別技術講習会の開催
- 3 新システム（新規受託可能な分野）の技術勉強会等の実施
- 4 工事検査評価と施工指導についての研修会の実施

担当副会長 古川 敏博 委員長 齋藤 匡司

副委員長

藤井 政弘

委員

- 本多 修一朗（第一温調工業）
- 高野 弘明（光和設備工業所）
- 渡邊 勝彦（石田工業所）
- 大塚 淳史（大塚設備）
- 松原 兼宏（三共設備）
- 藤井 政弘（関影エンジニアリング）
- 齋藤 匡司（興栄設備）
- 小黒 敬三（小黒設備工業）

■広報委員会（委員5人）

- 1 機関紙を発行するための広報委員会の開催
- 2 建築設備業界の対外的啓発に関する事業の推進

担当副会長 倉島 央樹 委員長 山田顕一郎

委員

- 泉田 達夫（文化設備工業）
- 山田顕一郎（山田設備工業）
- 児玉 浩二（クレハテック）
- 成瀬 亨（東邦工業）
- 木幡 安（コハタ）

早期の現場協議が重要

県総合設備協会研修会

安全意識定着へ大会も



安全意識を高揚、工程管理のポイントを学んだ大会、研修会

認定者を目指す」と呼び掛けた。技術研修会では、野崎伸吾県出納局工事検査課主幹兼専門工事検査員が2025年度工事検査実績や、増加傾向にある不適格工事（25年度10件）の留意事項などを解説。共通・特記仕様書の確認の重要性を改めて周知し、中間検査の積極的な活用を訴え掛けた。安全大会では、松尾佑輔福島労働局労働基準部健康安全課地方産業安全専門官が建設業における労働災害防止対策について講話。墜落・転落による死亡災害が増えているため、足場に関する法改正の注意、墜落防止用器具の規格不適合品の見分け方などを紹介した。伊藤冷機工業の村上光一氏が安全宣言し、今年度全国安全週間スローガンを唱和した。

東北地方整備局と当協会、県電設業協会との今年度意見交換会Ⅱ写真Ⅱは5月14日、福島市の県電設会館で開かれた。当協会と電設協会は、中東情勢悪化による県内設備の悪化による県内設備業界への影響について報告。資材の値上げや納期遅延が発生し、それらを早期解決が困難な課題と認識しながらも、受注者が不利益にならないよう「対応を考えたい」と回答した。当協会から大内弘之会長、有賀行秀、古川敏博副会長、根本剛、桎屋和久、糸井和幸各理事、海川正美専務理事、電設協会の大槻博太会長、丹野勇治、渡部昌彦副会長らが出席。東北地整の近藤裕介設備技術対策官、宮内大輔保全指導・監督室長、堀正之、加藤政昭両整備課長補佐、佐藤祥悦企画部情報通信技術課建設専門官、吉田智福島河川国道事務所防災課長と意見を交わした。西団体は移動中の工事への影響について、中止に至ったケースはないが、一部工期が延びている現場もあると報告。また「一部自治体では、資材の納入が不安定なため価格設定や工期の見通しが立てられず、発注できない状況が起きている」と現状を危ぶむ意見も挙がった。

東北地整と交換意見

受発注「手控え」懸念

中東情勢悪化 業界への影響共有



松尾専門官



野崎検査員



松田主査



村上氏



3団体は24年度から協会の体制を敷き、県内建築・設備業界の働き方改革に取り組んでいる。24年度は公共建築設備工事の工期設定、25年度は①週休2日確保工事②概成工期情報共有システム（ASP）③遠隔現場への関係する問題を抽出し、県土木部との意見交換会で改善を要望した。要望事項のレビューに当たっては、会員を対象にアンケート調査を行い、課題の改善状況について具体的な事例を収集する。調査では、25年度に建築設計団体との意見交換会のテーマについても意見を聞く予定。会議には当協会の有賀行秀、古川敏博副会長、建設業協会の大場俊之副会長、大和田知昭建築技術委員長、松本新太郎同副委員長、電設業協会の丹野勇治副会長と各団体事務長が出席。有賀副会長は、発注者への継続的な要望が重要として「率直な意見を述べ、われわれの立場を明確にしていきたい」とあいさつした。

中東影響で県に緊急要望

設計変更など 柔軟、早急な対応を

県建設産業団体連合会は5月26日、中東情勢の不安定化に伴い、県農林水産、土木両部に緊急要望を行った。建設資材の価格上昇や供給不足が生じている現状を受け、建設業者が不安なく入札に参加し円滑な工事施工が可能となるよう、価格上昇分の変更設計による対応や、資材が確保できない場合の迅速で柔軟な設計変更を要請。急激な価格変動に対応した、きめ細やかな市場調査、発注時期への配慮も求めた。断熱材や塗料が不足し防水や屋根工事等に影響が出ており、ストリートアスファルトは8割以上値上がり（緊急要望時点）。塩ビ系配管、継手等は深刻な品薄状態で、銅管価格は4月に20%増で過去最高値を付けた。衛生器具も発注してみないと納期が分からない状態となっている。建設業は、工期長期化や工事打ち切りは、県民生活や受注企業の経営に悪影響を及ぼすとして①予測不能で急激な価格上昇に対応するため、工事請負契約締結後に見積も

り単価を含め、最新の単価で設計変更を実施②資材が確保できない際には、工事一時中止による工期延長や代替資材への設計変更を迅速かつ柔軟に行い、費用も設計変更で適切に計上するよう要望した。

長谷川浩一（会長と古川敏博（当協会副会長）、大槻博太（副会長）らが県庁を訪問。農林水産部の小貫重太郎、鈴木幸則技監、小久保和秀農林整備担当次長、土木部の芳賀英幸技監、和知聡企画担当次長に対応を訴えた。

26年度の要望事項に反映するとして。

継続的な要望重要

働き方改革

建築・設備業界3団体 今年度は改善状況を調査

当協会と県建設業協会は3月18日、福島市の県建設センターで当面する課題についての意見交換会を開き、2026年度も連携して建築工事の働き方改革推進に取り組むことで合意。これまで行った土木部に対する要望事項（工期設定、週休2日確保工事等）のレビューを行い、施工者側から見た県の対応状況を確認し、26年度の要望事項に反映するとして。



休憩室

瞬間があります。この年でも成長するのだと気づかされたものです。

特にこれからたくさんの時間がある若い人には、この視点をもって仕事に取り組んで欲しいと思います。日々

工期が厳しいのに設計どおりにいかない状況。そんな時でも、現場代理人や監督員を含め工事に携わる全ての人が「より良いものを作ろう」と同じ方向を向いて仕事に取り組んでいる現場です。

ていく。その楽しさはやがてやりがいや生きがいになり、仕事も面白くものにしていきます。

現実には理想どおりの現場ばかりではないかもしれませんが、そんな楽しく思える現場も

の積み重ねが将来「できる人」に成長させてくれます。ぜひ成長する自分を楽しんでください。

話が少し変わります
が、こんな経験はありませんか？

日々苦勞の連続で、
変ですが、不思議と
気があり楽しく思え
くる。それぞれが知
を絞って意見を出し
、時間を忘れて話
合ったものが、一つ
形となつて出来上が

最近思うこと

県土木部 営繕課
副課長 兼 専門電気技師

最近思うこと

県土木部宮繕課
副課長兼専門電気技師

阿部 雅彦

そんな中、最近になって再び尾瀬を訪れる機会がありました。同行してくれた友人は山に詳しく、高山植物の名前やシカの食害について教えてくれました。

花の名前はすぐに覚えられないので、参考になる本を教えてもらいました。ちなみにその本は、尾瀬の植物に焦点を当て、花を色別に大きく分類し、写真のほか、花の咲く時期や特徴、間違えやすい植物があれば、その植物が載っているページが記載されており、使い勝手の良いものでした。

すっかり気に入ってしまった私は、帰りに御池のロッジで、山歩き用と自宅用の2冊を購入してしまいました。

また、水芭蕉の葉がシカに食べられた跡など教えてもらうと、あちこちで食べられていることに気が付きます。尾瀬では昔のような視界一面がニッコウキスゲや水芭蕉が群生するような景色が見られなくなっているそうです。

ほかの山に行っても、シカの食べ跡を冒につけられ、意外に食べられていることに驚きました。「知ることで見えてくる新しい発見」が楽しくて、山を散策しています。

直近では1泊2日で

残雪を頂いた会津駒ヶ岳に行ってきました。尾瀬国立公園内はテントの設営場所が限られており、会津駒ヶ岳付近は設営禁止のため、山小屋に宿泊することになります。食事や飲料水は自分で持ち込む素泊まりです。

このような山小屋に泊まるのが初めてということもあり、前日は準備に追われ、ご飯×ニユーを考える余裕がなく、夜と翌日の朝も、茹でるだけで簡単に作れるものにして、とりあえず寝ることになりました。

当日は10時過ぎに登山口に到着、新緑がきれいな樹林帯の中を進んでいきます。まるで

新緑のトンネルの中を登っていくようです。1時間半ほど登ると緑はなくなり、樹林帯は広葉樹から針葉樹に変わり、今度は残雪の斜面を登ることになります。標高が上がるにつれて、季節をさかのぼるように景色が変わっていきます。

樹林帯を抜け、視界が開けると山頂や山小屋が見えてきます。山頂付近も雪に覆われており、山小屋から山頂まで続く登山道も雪の下です。

そのため通常よりも目線が高く、眺めの良い雪の上を歩いて行くなど、普段とは違う景色があり楽しくもありました。天気も素晴らしいです。

しく、燧ヶ岳はもちろんのこと、越後三山や遠くは飯豊連峰まで大パノラマを見ることができました（残念ながら富士山は見られませんでした）。

山小屋では私の他に2人の登山客がおり、やさしいランプの明かりのもと、山の情報交換など話が弾みました。

深夜には楽しみにしていた星空撮影も行いました。小屋の外に出てみると、空一面に満天の星空と天の川、流れ星も見られ、とても幸せなひと時を過ごせました（下山時は前日の感動の余韻で名残惜しいっぱいです）。

翌日は山小屋で売っていたコーヒートとハーブティーを友人へのお土産に購入し下山することにしました。帰りも天気が良く、景色が素晴らしいので、前日の寝不足も気にならず、下りの2時間があったという間でした。

山には、写真では感じ取れない景色、風景があり、今回は青空と残雪のコントラスト、満天の星空、ランプの明りが灯る山小屋の雰囲気など、素敵な時間を過ごせたことがとても幸せでした。

時間の過ぎ方方にはそれぞれあると思います。皆さんもぜひ、幸せな時間の過ごし方を見つけてみてください。

い。

建築設備業の飛躍誓う

技術、経験を次世代に継承

助会員らと星北斗参議院議員、関係団体等代表ら166人が出席し、県内設備業界のさらなる発展を誓い合った。

大槻会長が「これから

の時代を築き、次の代にもしっかりとしたものを残していくのがわれわれの責任」とあいさつ。来賓の矢澤敏幸県土木部長は「卓越した技能と経験

効率化の手法学ぶ

労働時間削減へ52人が受講

県総合設備協会（大槻博太会長）は2月3日、福島市の県建設センターで建設業バックオフィス業務DX化研修会を開いた。働き方改革に伴う時間外労働の縮減・事務効率化に向け、事務部門のDX化を推進するための事例や情報を共有。現場の仕事をバックアップする取り組みの必要性や進め方を学んだ。

当協会と県電設業協会から52人が受講した。渡部昌彦理事が「業界は資

により培われた高い技術力によつて、次世代に継承できる質の高い建築物を共に創造してほつ」と呼び掛けた。

矢吹貢一県議会議長、鈴木武男県建設産業団体連合会副会長も祝辞を寄せ、設備業界の活躍に期待した。協会顧問の佐藤憲保県議会議員の発声で乾杯し懇談した。

た。

東日本建設業保証の派遣講師を務める日本マルチメディア・イクイップメントの武田健一氏が「建設業バックオフィスDX化の進め方」と題して講演。デジタル化が可能なバックオフィス業務に台帳作成や請求処理、契約、勤怠管理などを挙げ、適応するAIツール

支部のうごき

【県北】

◆第43期通常総会 5月15日、福島市のウェディングエルティで開いた。役員改選で新支部長に古川敏博氏を選出した。

会員約20人が出席。大内
 弘之支部長があいさつし①
 建築設備工事の直接発注
 (分離発注)の陳情②技術
 力向上と経営体質の強化③
 友好団体との連携強化④リ
 ニューアルへの積極的な対
 応⑤会員相互の連携と親睦
 ⑥震災復興・創生支援協力
 ⑦地域ボランティア活動一
 など今年度事業計画を決め

【県中・県南】

◆第43回通常総会 5月11日、郡山市の郡山市管工事協同組合会館で開き、役員改選で新支部長に吉成進氏を選んだ。

支部会員10人が出席。根本剛支部長が「資材高騰により、収益悪化などが表面化している。会員各社はライバル関係にあるが、情報交換を行い、厳しい時代を乗り越えていこう」とあいさつした。

事業計画では①県中・県南建設事務所との懇談会の開催②電設業協会各支部、設備設計事務所協会県中・県南支部との交流・意見交換会の開催③3支部（県北、会津、浜）交流会の実施④県南支部市町村の分離発注と地元業者発注の要望⑤新規会員の入会促進⑥災害復旧協定に基づく支援⑦各種講習会の開催などを決めた。

吉成新支部長は「中東情

勢の緊迫化もあり、非常に厳しい時代。業界一丸となって乗り越えていきたい」と抱負を述べた。

【相双】

◆2026年度通常総会議案
を书面決議 役員改選を行
い、糸井和幸支部長を再任
した。

今年度は現場代理人、監理技術者、施工作業員等の確保に努め、相双地区の復興・創生と社会貢献のため経営体質の改善・強化を図ることを目標とした。事業計画として①本部事業への積極的な参加②例会の開催③会員拡大④技術者・作業員の確保一などを推進する。

【いわき】

◆第43回通常総会 5月19日、いわき市平のいわきワシントンホテル椿山荘で開き、役員改選で新支部長に坂本憲弘氏を選んだ。会員ら約10人が出席。有

賀行秀支部長が「設備業界を取り巻く環境が変化している。中東情勢の影響で、樹脂を使用した部品などの価格が上昇しており、今後の対応を検討する必要がある」とあいさつした。

事業計画は①各種災害発生時の復旧・復興事業への積極参加②関係機関・団体との連携強化③行政機関、議会に対する陳情・請願④支部活動活性化事業（例会、技術研修会、親睦会）⑤行政機関との技術懇談会⑥空調衛生等設備工事の技術力向上など。

◆県、電協いわき支部と
合同研修 いわき管内の県
出先機関と県電設業協会
いわき支部（丹野勇治支部長）
との合同技術研修会を1月

21日、いわき市の県企業局
いわき事業所で開いた。

受発注者間で情報を共有し、技術や知識の向上を図ろうと開催。両支部、いわき建設、鮫川水系ダム管理、小名浜港湾建設各事務所、同事業所の職員ら約40人が参加した。

有賀行秀支部長が「デジタルに主眼を置いた講習会。知識を身に付けて今後の業務に生かしてほしい」とあいさつ。田中剛県企業局いわき事業所施設管理課長が、改修により2024年度にNearly ZEB化を実現した同事業所庁舎の事例を基に「既存建物のZEB化改修」について講演した。

「双葉地区特別支援学校
移転新築工事でのBIM活
用事例」として、同工事で
機械設備工事を担当した小
野真也北関東空調工業工事
事業部技術2部技術1課長代
理が解説した。

【会津】

◆2026年度通常総会 5月12日、会津若松市の田事で開き、役員改選で鹿目寿支部長を再選した。

会員13人が出席。鹿目支部長があいさつした。今年度は会員相互の協力体制を強化し、技術力向上、適正施工の推進、地域に根差した活動を通じて持続可能な業界の発展を図る。また環境負荷低減や安全確保に向けた取り組みを推進する。

事業計画は①発注機関への啓発活動と県議会議員との意見交換会②建設事務所（会津若松、喜多方、南会津）と会津大学との意見交換会③親睦事業の促進④積算制度の内容把握と教育一など。

会員3社が晴れの受賞

会津若松市優良工事

会津ガス、東邦工業、ハッ橋設備

会津若松市の2026年度優良建設工事を、当協会会員企業が施工した3工事が受賞した。7月9日に同市の會津稽古堂で表彰式が行われ、室井照平市長が受賞者に表彰状と記念の盾を手渡した。



受賞工事は水道施設部門で会津ガスが施工した

重要給水施設配水管整備事業・花春町ほか配水管布設替工事（現場代理人

木幡氏が建産連功労者表彰受賞

会津若松市優良工事の第42回通常総会に当たり、建設産業の社会的地位の向上や所属団体の発展に功績のあった会員団体の役員等として、当協会の発展に寄与した。

重要給水施設配水管整備事業・花春町ほか配水管布設替工事（現場代理人

2021、22年の本県沖地震では、国や県からの要請に基づき、陣頭指揮を執って被災施設やインフラの応急復旧に当たった。

会津若松市優良工事の第42回通常総会に当たり、建設産業の社会的地位の向上や所属団体の発展に功績のあった会員団体の役員等として、当協会の発展に寄与した。

会津若松市優良工事の第42回通常総会に当たり、建設産業の社会的地位の向上や所属団体の発展に功績のあった会員団体の役員等として、当協会の発展に寄与した。

会津若松市優良工事の第42回通常総会に当たり、建設産業の社会的地位の向上や所属団体の発展に功績のあった会員団体の役員等として、当協会の発展に寄与した。

会津若松市優良工事の第42回通常総会に当たり、建設産業の社会的地位の向上や所属団体の発展に功績のあった会員団体の役員等として、当協会の発展に寄与した。

会津若松市優良工事の第42回通常総会に当たり、建設産業の社会的地位の向上や所属団体の発展に功績のあった会員団体の役員等として、当協会の発展に寄与した。

会津若松市優良工事の第42回通常総会に当たり、建設産業の社会的地位の向上や所属団体の発展に功績のあった会員団体の役員等として、当協会の発展に寄与した。

会津若松市優良工事の第42回通常総会に当たり、建設産業の社会的地位の向上や所属団体の発展に功績のあった会員団体の役員等として、当協会の発展に寄与した。

テクノアカ会津入学生募集

喜多方市にある県立テクノアカデミー会津の電気設備科は2026年4月から「電気・設備システム科」へ科名を変更し、訓練を開始しています。電気・設備システム科は、建築設備（電気設備技術、給排水設備技術、冷凍空調技術）について2年間の総合的な教育訓練を行っており、若手技術者の人材育成に努めています。

27年度生の入学試験日程は、推薦入学試験（学校推薦型選抜）が10月2日（出願期間は9月14～25日）、推薦入学試験（総合型選抜）が11月6日（出願期間は10月19～28日）、一般入学試験は12月11日（出願期間は11月26日～12月4日）です。なお、推薦入学試験（総合型選抜）から在職者の受験が可能です。詳細は福島県立テクノアカデミー会津までお問い合わせください。入試担当 ☎0241(27) 3221。

ホームページアドレス=https://www.tc-aizu.ac.jp

高田産商株式会社
代表取締役社長 沼田重一
白河営業本部
〒961-0831 白河市老久保126-1
TEL:0248-27-8800(代)
FAX:0248-27-3697
本社・工場
〒963-6131 東白川郡棚倉町棚倉字中居野96-1
TEL:0247-33-3101(代)
FAX:0247-33-2142
いわき営業所
〒973-8402 いわき市内郷御殿町3-68
TEL:0246-38-8831(代)
FAX:0246-38-8832
郡山営業所
〒963-8863 郡山市菜根屋敷60-12
TEL:024-973-6394(代)
FAX:024-973-6392

福島県ダクト工事業協同組合
理事長 遠藤 和伸
〒960-2262 福島市在庭坂字柳清水32-1
TEL:024(591)4611
組合員
(有) 移川鋼板工業所
(株) H G I 工業
(株) 協栄空調工業
(有) 共立工業
(株) 共和工業
(株) 協和サーモテック
(有) 佐戸川ダクト鋳金工業所
(有) 伸和
(有) タンノコーポレーション
(株) 渡辺ダクト工業

風と水と空と

空調衛生のお仕事

私が入社してから3年が過ぎました。最初の頃は、毎日が新しいことばかりで、分からないことも多く、緊張しながら机に向かっていたのをよく覚えています。

小さな成長、コツコツと

(株)アークス会津

大原 奈緒

容を進めていくうちに、この作業はこういう流れでつながっているんだ」と気づく瞬間が増えてきました。最初は似たような書類の違いがわからず戸惑うことも多かったのですが、自分の仕事がかかっているという意識が、周囲の方々に

助けてもらえばいいけれど、ほんの少しですが前向きな気持ちにすることが目標のひとつです。

空衛協のうごき

【4月】
▽10日 2026年度県立テクノアカデミー会津入学式（会津支部長）
▽10日 新年度あいさつ回り（大内会長・海川専務）
▽13日 伊藤隆之税理士による決算監査指導（海川専務、根本専務）
▽24日 2025年度決算監査会（監事、会長、会計理事等）
▽24日 2026年度第1回役員会・理事会（大内会長、ほか役員）
▽25日 県建設業協会第15回定時社員総会（有賀会長）
▽25日 県建築士事務所協会第14回総会懇親会（有賀会長）
▽25日 ホテル福島グリーンパレス

【5月】
▽12日 県建設業協会連合会第56回理事会（大内会長）
▽14日 東北地方整備局

【6月】
▽1日 県建築安全機構2026年度第1回理事會
▽11日 2026年度第1回総務委員会（担当副会長、委員）
▽11日 2026年度第1回技術委員会（担当副会長、委員）
▽11日 2026年度第1回設備委員会（担当副会長、委員）
▽11日 2026年度第1回環境委員会（担当副会長、委員）
▽11日 2026年度第1回労働委員会（担当副会長、委員）
▽11日 2026年度第1回安全委員会（担当副会長、委員）
▽11日 2026年度第1回健康委員会（担当副会長、委員）
▽11日 2026年度第1回福祉委員会（担当副会長、委員）
▽11日 2026年度第1回文化委員会（担当副会長、委員）
▽11日 2026年度第1回スポーツ委員会（担当副会長、委員）
▽11日 2026年度第1回国際委員会（担当副会長、委員）
▽11日 2026年度第1回環境委員会（担当副会長、委員）
▽11日 2026年度第1回労働委員会（担当副会長、委員）
▽11日 2026年度第1回安全委員会（担当副会長、委員）
▽11日 2026年度第1回健康委員会（担当副会長、委員）
▽11日 2026年度第1回福祉委員会（担当副会長、委員）
▽11日 2026年度第1回文化委員会（担当副会長、委員）
▽11日 2026年度第1回スポーツ委員会（担当副会長、委員）
▽11日 2026年度第1回国際委員会（担当副会長、委員）

世界情勢が不安定さを増す中、地政学リスクの高まりを受け、各国ではインフラの強靱化が急務となっている。物流網の再構築やエネルギー施設の更新など、建設分野の需要は引き続き拡大しています。

編集後記

広報委員 泉田 達夫

しかし、そうした中でも現場には変わらぬ朝が訪れ、今日も多くの人が手を動かし、汗を流しながら街の未来を形づくっています。国際情勢の影響を受けながらも、道路や建物など暮らしを支えるインフラ整備は止まることなく進められています。

こうした日々の積み重ねこそが、社会の安心と安全につながっているのだと、現場に携わる一人一人は、日々向き合う中で私自身が抱えている率直な思いでもあります。世界がどのように変化しても、私たちの役割は人々の暮らしを支えることに変わりはありません。その思いを大切に、お互いに未来へ向けて着実に歩みを進めてまいりましょう。